

令和4年度 行政評価調書

■ 施策の概要

(第7次総合計画 基本計画 P.144～146)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ5 まちなみと自然が調和し、環境にやさしいまち(環境・景観)		
施策名	5-4 都市景観		
所管部	建設部	関係部	産業港湾部・教育部
この施策の 目指すべき姿と その展開方向	<p>(第7次総合計画 基本構想 P.44)</p> <p>小樽の歴史や文化が息づく歴史的なまちなみや、変化に富んだ海岸線、坂、山並み、四季の移ろいなどの景観資源を本市固有の財産として守り育て、魅力ある都市景観の形成を目指します。 このため、市民との協働による景観づくりを進めるとともに、景観法及び屋外広告物法を活用し、景観の保全や歴史的なまちなみと調和した新しい景観の創出に努めます。</p>		
市民アンケート 指標	小樽のまちなみに愛着を持っている市民の割合(再掲)	基準値	目標値
		76.0%	基準値より増

■ 施策の内容(小施策)

(第7次総合計画 基本計画 P.144～146)

小施策 及び 指標	(1) 歴史的建造物の保全及び活用		基準値	目標値
	指標	指定歴史的建造物の指定件数	79件	79件
	(2) まちなみ景観の創出		基準値	目標値
	指標	小樽のまちなみに愛着を持っている市民の割合	76.0%	基準値より増
	(3) 自然景観等の保全		基準値	目標値
	指標	小樽の海や山などの自然景観に愛着を持っている市民の割合	80.8%	基準値より増
	(4) 市民との協働による景観形成		基準値	目標値
	指標	歴史的建造物めぐり等の啓発事業への応募件数	165件	180件

令和4年度 行政評価調書

■施策の評価(一次評価)

まちづくり 6つのテーマ	テーマ5 まちなみと自然が調和し、環境にやさしいまち(環境・景観)					
施策名	5-4 都市景観					
所管部	建設部	関係部	産業港湾部・教育部			
市民アンケート 指標	小樽のまちなみに愛着を持っている市民の割合(再掲)	基準値	令和3年度	令和5年度	目標値	
		76.0%	78.3%		基準値より増	
市民アンケート 指標の推移	◎	◎:指標の推移は順調 △:指標の推移は順調でない -:判定不能(実績値なし)				
各小施策の 指標の推移	指標		基準値	実績値	推移	目標値
	(1)	指定歴史的建造物の指定件数	79件	79件	◎	79件
	(2)	小樽のまちなみに愛着を持っている市民の割合	76.0%	78.3%	◎	基準値より増
	(3)	小樽の海や山などの自然景観に愛着を持っている市民の割合	80.8%	84.4%	◎	基準値より増
	(4)	歴史的建造物めぐり等の啓発事業への応募件数	165件	59件	△	180件
指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例:実績値≥標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)						
【一次評価】 達成度の向上 等へ向けた今後 の方向性	A-2	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う			
総評及び今後の 具体的方針 ほか特記事項	<ul style="list-style-type: none"> 小施策(1)~(3)の指標については推移が順調であるが、小施策(4)については、新型コロナウイルスの影響により一部の事業が実施できず、指標に影響している。 小施策(4)については、市民ニーズを踏まえ、実施内容や周知方法の改善を図りながら推進してまいりたい。 近い将来、全ての登録・指定歴史的建造物が創建から100年を経過する状況にあり、老朽化や所有者の事情により、歴史的建造物の維持保全が困難になることが予想されるため、小施策(1)については、歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の策定に向けた取組を推進するとともに、その他の国の支援制度の活用についても庁内関係部と連携し対応してまいりたい。 					

■有識者会議による点検 (対象 非対象)

点検結果	
------	--

■施策の評価(二次評価)

【二次評価】 達成度の向上 等へ向けた今後 の方向性	A-2	(指標推移) A:各指標の推移は順調 B:各指標の推移は概ね順調 C:各指標の推移はあまり順調でない D:各指標の推移は順調でない	(改善内容等) 1:主な予算事業等をそのまま継続して推進する 2:主な予算事業等を改善しながら推進する 3:主な予算事業等の内容の全面的な見直しを行う
上記特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ○各指標の推移等は、一次評価のとおりと考える。 ○「歴史的建造物めぐり」については、既存の開催手法に加えて、コロナ禍を考慮した個人で巡ることも可能な形態での開催手法(オンライン講義等のインターネットによる啓発と個人での訪問の組合せなど)を検討するとともに、参加者によるSNS発信を促すなど、副次的効果を狙った手法も検討すること。 ○市内の歴史的建造物の保全のため、歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の策定を進めるとともに、国の支援制度の活用や所有者に対する効果的な支援策についての検討を進めること。 ○屋外広告物条例による規制については、引き続きパトロールによる是正指導や違反広告物簡易除却などに取り組むとともに、事業者や市民への制度趣旨の周知、市の取組の情報発信に努めること。 		

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(1) 歴史的建造物の保全及び活用

(第7次総合計画 基本計画 P.145)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	指定歴史的建造物の指定件数		平成30年		79件	79件		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
指標推移	◎	◎ : 指標の推移は順調 △ : 指標の推移は順調でない - : 判定不能(実績値なし)	79件	79件	79件			
指標推移			指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。(目標値まで増加させる場合の例: 実績値 ≥ 標準値 ⇒ ◎、実績値 < 標準値 ⇒ △)					
主な取組	<p>★所有者等への技術的・経済的支援による歴史的景観の保全(建設部新幹線・まちづくり推進室)</p> <p>○歴史的建造物を保全活用するための「伝統的建造物群保存制度」や「歴史まちづくり法」等による国の支援制度の活用を含めた取組の検討(教育部生涯学習課、建設部新幹線・まちづくり推進室)【共3-5 観光】</p> <p>○日本遺産を活用した観光振興の推進(産業港湾部観光振興室)【共3-5 観光】</p> <p>○「小樽市歴史文化基本構想」の理念を踏まえた歴史文化資源の適切な保存と活用(教育部生涯学習課)【共6-2 文化芸術】</p>							
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金(01055)		② 1,085 千円		③ 建設部新幹線・まちづくり推進室		
	④ 景観条例に基づく登録・指定歴史的建造物の保全を図るため、外観の保全に要する経費の一部を助成し、所有者への経済的な支援を行う。令和3年度の財源については、小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金を充てている。							
	⑤ 助成件数 令和元年度 3件 令和2年度 2件 令和3年度 1件							
	2	① 歴史的建造物等保全対策費(01053)		② 634 千円		③ 建設部新幹線・まちづくり推進室		
	④ 歴史的建造物の保全や市民周知等を目的に設置している歴史的建造物の説明看板のうち、劣化しているものを補修する。							
	⑤ 歴史的建造物説明看板補修件数 令和元年度 4基 令和2年度 6基 令和3年度 5基							
	3	① 日本遺産推進協議会補助金(04231)		② 0 千円		③ 産業港湾部観光振興室		
④ 小樽市日本遺産推進協議会への補助金により、日本遺産候補地域「北海道の『心臓』と呼ばれたまち・小樽」の本認定を目指すため、文化庁に提出した小樽歴史ストーリーや構成文化財等を活用し、市民認知度の向上やシビックプライドの醸成を図り、観光誘客及び周遊促進を推進。(文化庁補助金が同協議会に直接収入することとなり市補助金の決見額0円)								
⑤ 小樽市日本遺産地域プロデューサー(R3:20名認定) 小樽市日本遺産インタープリター(R3:22名認定)								
4	① 歴史的建造物の保全活用に向けた取組の検討		② 予算なし 千円		③ 教育部生涯学習課、建設部新幹線・まちづくり推進室、産業港湾部観光振興室			
④ 歴史的建造物を保全活用するために、「伝統的建造物群保存制度」や「歴史まちづくり法」等による国の支援制度の活用を含めた取組を検討する。								
⑤ 歴史を活かしたまちづくり庁内検討会議の開催 令和元年度 4回 令和2年度4回 令和3年度1回 そのほか、国土交通省の制度担当者にヒアリングを実施								
5	① 旧寿原邸利活用推進経費(3639)		② 1,717 千円		③ 建設部公園緑地課			
④ 旧寿原邸の一般公開を行うとともに、文化芸術イベント等を実施し、歴史的建造物を有効活用する。								
⑤ 一般公開入館者数 令和2年度 1,941人 令和3年度 1,122人								
6	①		② 千円		③			
④								
⑤								
指標推移の要因等	<p>・歴史的建造物の所有者及び市民の保全活用に対する意識が高いことや、各事業の実施により、指標の現状維持ができています。</p> <p>・今後も歴史的建造物の指定件数を維持していくためには、市民のシビックプライドの醸成や、歴史的建造物の所有者に対する技術的助言及び経済的支援の拡充が必要と考える。</p>							
令和4年度の取組状況	<p><指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等></p> <p>日本遺産推進協議会補助金事業については、R4年度は文化庁補助金により事業を運用していくため、市として予算計上はしていないが、協議会としては日本遺産認定に向け、事業を継続していく。</p>							

指標推移への対応方針 (令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>	
	2	1:各事業をこのまま継続して推進する 2:予算事業等を改善しながら推進する 3:予算事業等の内容の全面的な見直しを行う
	1 歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金について、助成制度の周知徹底と国の支援制度導入を見据えた財源のあり方を検討する。 2 市民のシビックプライドの醸成に向けた取り組みについて、関係部局と連携するなど、効果的な実施内容を検討する。 3 「歴史まちづくり法」による支援制度の活用を目指し「歴史的風致維持向上計画」の策定を推進するとともに、引き続き「伝統的建造物群保存制度」等の国の支援制度を含めた取組を検討する。	

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(2) まちなみ景観の創出

(第7次総合計画 基本計画 P.145)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	小樽のまちなみに愛着を持っている市民の割合		令和元年		76.0%	基準値より増		
指標推移	◎	◎:指標の推移は順調 △:指標の推移は順調でない -:判定不能(実績値なし)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
						76.0%		78.3%
主な取組	<p>★景観条例・屋外広告物条例等の周知や適切な運用による、まちなみに配慮した建築物等の景観誘導の推進(建設部新幹線・まちづくり推進室)</p> <p>○無電柱化等により創出される良好なまちなみ景観のための関係機関との連携(建設部新幹線・まちづくり推進室、建設部建設事業室)</p>							
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 景観法及び景観条例に基づく行為の届出による景観誘導		② 予算なし 千円		③ 建設部新幹線・まちづくり推進室		
		④ 良好な都市景観の保全、育成及び創出を目的に、一定規模を超える建築物及び工作物の建築等の行為に対して、届出を義務付け、景観計画に基づく審査や景観誘導を行う。						
		⑤ 届出件数 令和元年度 44件 令和2年度 35件 令和3年度 37件						
	2	① 屋外広告物許可申請関係経費(02402)		② 164 千円		③ 建設部新幹線・まちづくり推進室		
		④ 良好な景観の形成、風致の維持及び公衆に対する危害の防止を目的に、一定規模を超える屋外広告物の表示や掲出物件の設置に対して、許可申請を義務付け、許可基準に基づく審査や景観誘導を行う。						
		⑤ 許可件数 令和元年度 181件 令和2年度 143件 令和3年度 192件						
	3	① 無電柱化に向けた取組		② 予算なし 千円		③ 建設部建設事業室建設課		
		④ 景観の阻害要因となる電柱・電線をなくし良好な景観形成を目的とし、関係機関との連携を図り事業の要望を行う。						
		⑤ 事業要望 令和元年度 1件 令和2年度 1件 令和3年度 1件						
4	① 屋外広告物周知啓発事業		② 予算なし 千円		③ 建設部新幹線・まちづくり推進室			
	④ 劣化や景観を阻害している屋外広告物の把握や是正を目的に、落下等の恐れがある広告物や違法に表示された広告物のパトロールを行い、是正指導を行う。							
	⑤ パトロール実施回数 令和元年度 2回 令和2年度 3回 令和3年度 2回							
5	①		② 千円		③			
	④							
	⑤							
6	①		② 千円		③			
	④							
	⑤							
指標推移の要因等	<p>・景観条例及び屋外広告物条例による規制や景観誘導により、良好な景観が維持されたことから、指標が向上したと考える。</p> <p>・今後、指標を向上させるためには、条例の周知徹底や情報発信により、市民や事業者等の景観に対する意識の醸成を図る必要があると考える。</p>							
令和4年度の取組状況	<p><指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等></p> <p>令和3年度の実績を継続</p>							
指標推移への対応方針(令和5年度以降)	<p><指標推移の要因、令和4年度の実績状況等を踏まえた今後の対応方針></p>							
	1	<p>1:各事業をこのまま継続して推進する</p> <p>2:予算事業等を改善しながら推進する</p> <p>3:予算事業等の内容の全面的な見直しを行う</p> <p>・景観条例及び屋外広告物条例による規制や景観誘導により、良好な景観が維持されていることから、条例に基づく取組を継続するとともに、市民や事業者等の景観に対する意識の醸成を図るための手法について検討する。</p>						

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(3) 自然景観等の保全

(第7次総合計画 基本計画 P.145)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値			
	小樽の海や山などの自然景観に愛着を持っている市民の割合		令和元年		80.8%	基準値より増			
指標推移	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
	◎	◎:指標の推移は順調 △:指標の推移は順調でない -:判定不能(実績値なし)	80.8%		84.4%				
主な取組	○保存樹木及び保全樹林の指定による自然景観などの保全(建設部新幹線・まちづくり推進室)								
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当				
	④ 目的と概要								
	⑤ 事業等実施状況								
	1	① 保存樹木等の指定及び保全助成金		② 予算なし 千円		③ 建設部新幹線・まちづくり推進室			
		④ 地域的美観風致を維持し、都市景観の形成を図ることを目的に、保存の必要がある樹木や樹林を指定し、現状変更行為を制限している。指定後10年以内については、保存樹木等の保全のための行為に対して助成を行い、所有者への経済的支援を行っている。 ※現在、指定済みの樹木等は全て10年を経過しており助成対象は無い							
		⑤ 指定済みの保存樹木等 保存樹木 7箇所 保全樹林 6箇所							
	2	① 緑化の推進		② 予算なし 千円		③ 建設部新幹線・まちづくり推進室			
		④ 緑化の推進を目的に、一定規模を超える建築物の新築や宅地開発において、緑化計画書の提出を義務付け、敷地の緑化について指導や誘導を行っている。							
		⑤ 緑化計画書提出件数 令和元年度 8件 令和2年度 6件 令和3年度 6件							
	3	①		② 千円		③			
		④							
		⑤							
	4	①		② 千円		③			
		④							
		⑤							
	5	①		② 千円		③			
		④							
		⑤							
6	①		② 千円		③				
	④								
	⑤								
指標推移の要因等	・市民の自然景観に対する意識が高いことや各事業の実施により、指標が向上したと考える。								
令和4年度の取組状況	<指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等> 令和3年度の取組を継続								
指標推移への対応方針(令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>								
	1	1:各事業をこのまま継続して推進する 2:予算事業等を改善しながら推進する 3:予算事業等の内容の全面的な見直しを行う ・各事業の実施などにより、指標の向上が図られていることから、事業を継続する。							

令和4年度 行政評価調書(小施策検討シート)

(4)市民との協働による景観形成

(第7次総合計画 基本計画 P.146)

指標	指標名		指標の基準年		基準値	目標値		
	歴史的建造物めぐり等の啓発事業への応募件数		平成29年		165件	180件		
	年度ごとの実績値		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
			48件	-	59件			
指標推移	△	◎:指標の推移は順調 △:指標の推移は順調でない -:判定不能(実績値なし)	指標推移は、基準年から目標年までに基準値から目標値まで平均的に増加(減少)させた場合の値を標準値とし、当該年度の実績値と標準値を比較して判定。 (目標値まで増加させる場合の例:実績値≧標準値⇒◎、実績値<標準値⇒△)					
主な取組	<p>○歴史的建造物めぐりや都市景観賞等、市民への景観形成意識の啓発(建設部新幹線・まちづくり推進室)</p> <p>○「景観まちづくり協議会」や「ふるさとまちづくり協働事業」による自主的な景観形成活動への支援(建設部新幹線・まちづくり推進室、生活環境部生活安全課)</p>							
主な 予算事業等 (令和3年度の 取組状況)	① 名称(事業番号)		② 決算(見込)額		③ 担当			
	④ 目的と概要							
	⑤ 事業等実施状況							
	1	① 歴史的建造物めぐりの実施		② - 千円		③ 建設部新幹線・まちづくり推進室		
		④ 市民等に歴史的建造物の保全に対する理解を深めてもらうことを目的に、歴史的建造物の専門家を講師に迎え、バスを使用した歴史的建造物めぐりを実施している。※歴史的建造物等保全対策費の一部として実施						
		⑤ 歴史的建造物めぐり応募人数 令和元年度 40人 令和2年度 中止 令和3年度 45人						
	2	① 都市景観表彰経費(01783)		② 129 千円		③ 建設部新幹線・まちづくり推進室		
		④ 都市景観の向上とまちづくりへの市民等の関心を高めることを目的に、小樽の歴史と風土に調和した都市景観を創出している建築物やイベントなどを表彰する小樽市都市景観賞を隔年で実施している。						
		⑤ 都市景観賞応募件数 令和元年度 8件 令和3年度 14件						
	3	① 都市景観形成推進経費(01051)		② 30 千円		③ 建設部新幹線・まちづくり推進室		
④ 都市景観に対する市民の意識の向上や周知を目的に、指定歴史的建造物や小樽八区八景のガイドマップを配布するとともに、写真パネルを製作し写真パネル展等を実施している。								
⑤ 八景写真パネル展実施回数 令和元年度 1回 令和2年度 1回 令和3年度 1回								
4	① ふるさとまちづくり協働事業による自主的な景観形成活動への支援		② - 千円		③ 生活環境部生活安全課			
	④ 「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」を財源としたふるさとまちづくり協働事業の中で、自主的な景観形成活動等を行っている、まちづくり団体に対し、上限30万円の助成を行っている。							
	⑤ 令和元年度:1,096,822円(4団体) 令和2年度:476,873円(2団体) 令和3年度:297,044円(1団体) ※景観形成活動を行っている団体のみ抜粋							
5	①		② 千円		③			
	④							
	⑤							
指標推移の要因等	<p>・歴史的建造物めぐりについては、令和元年と比較して応募人数が微増したが、幅広い年齢層の参加に至っていない。なお、令和3年度は新型コロナウイルスの影響により募集は行ったが事業自体は中止した。</p> <p>・都市景観賞については、令和3年度は令和元年と比較して応募件数が増加しており、選考基準に合致する建築物やイベント等が増加したことが要因と考えられる。</p> <p>・ふるさとまちづくり協働事業については、近年は様々なまちづくり活動が活発であったが、令和3年度はコロナウイルスの影響により当初予定していた活動の縮小や中止を余儀なくされた団体が多かった。</p>							
令和4年度の取組状況	<p><指標推移に関連する主な予算事業等の改善や見直し等></p> <p>歴史的建造物めぐりを土曜日に実施することで若い世代の参加を促すとともに、平成31年度以降中止していた小樽八区八景めぐりの実施を予定している。</p>							
指標推移への対応方針(令和5年度以降)	<指標推移の要因、令和4年度の取組状況等を踏まえた今後の対応方針>							
	1	<p>1:各事業をこのまま継続して推進する</p> <p>2:予算事業等を改善しながら推進する</p> <p>3:予算事業等の内容の全面的な見直しを行う</p> <p>・歴史的建造物めぐり、都市景観賞及び八区八景事業については、市民の景観に対する意識の向上に寄与する取組であることから継続するが、今後、効果的な実施内容や周知方法について検討する。</p> <p>・まちづくり活動を行う団体は、新型コロナウイルス感染症対策を十分配慮しながら活動することが求められるが、状況に応じて、市と団体が連携をとりながら事業を進めることが必要となる。</p>						